

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調書

4-I-21

4-I-21

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	ピーク時を想定した緊急受入対応の検討
	節	I. アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	21 渋滞等予測調査の実施		事業主体	佐渡市建設課
			関連団体	佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡市観光振興課、(株)ゴールデン佐渡
事業実施期間	H28～R4			
事業概要	【事業目的】	○ピーク時を想定した渋滞等予測調査を実施することにより、駐車場や代替交通、仮設トイレ等の整備・検討を行う際の資料とする。		
	【事業内容】	○現況の交通量調査を踏まえ、登録前後の増容想定による渋滞予測を行う。		
R元事業計画と実績	【元年度計画】	●自動車交通量調査及び駐車場利用状況調査を実施し、調査票の作成を行うとともに、交通量の比較を行い、今後の交通安全対策や道路整備計画等、有効的に活用できる基礎資料を作成する。		
	【元年度実績】	●8月の繁忙期に主要4箇所にて7時から19時まで交通量調査を実施した。 概ね調査地点通行台数:約600[台/12h・方向]、駐車車両延べ2,785[台/12h]であった。 (相川地区駐車場可能台数1,294台) ●世界遺産登録後の観光入込客数の増加率が最も高かった「白神山地:2.02倍(登録後全期間平均)」を参考にして、世界遺産登録によるピーク時交通量は、現況交通量の最大2倍程度と予想した。 現況道路・駐車場の状況から走行車両や駐車車両に影響を及ぼす可能性は低いと考えられた。		
課題・今後の取組	【課題】	■史跡佐渡金山方面の道路には一車線区間があり、大型バス同士のすれ違いが難しい箇所がある。 ■現況交通量の2.5倍以上になると、史跡佐渡金山方面一車線区間で交通渋滞の発生懸念や、史跡佐渡金山の第1から第5の全ての駐車場が満杯となる可能性がある。		
	【今後の取組】	■今回の調査結果を基に、将来交通量推計を行い、交通混雑区間の課題を抽出し、恒久的・緊急的な混雑緩和対策を検討する。 ■検討結果に基づき、検討箇所の整備や事業実施を推進する。		
事業評価	【事業の達成度】	[a (b) c]	◇予定どおり渋滞等予測調査を実施したことから一定の成果が得られている。	
	【事業実施の効果】	[a (b) c]		
	【総合評価】	[A (B) C]		

a:進んでいる。高い。
b:概ね順調。概ね適切。
c:遅れている。低い。

A:計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B:概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C:計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。